

続

少年淫魔が

人間の
お姉さん

を好きに

なる話

制作 オトトイN



カッぱん!

やっと帰って
来た!

おかえり
あさみ
麻美!!

…
ただいま

はると
陽人くん

誰かが家に
いるの久し振り
だ……

一週間前会社帰り
知らない少年に突然
愛の告白をされた

赤い蠱惑的な瞳の
少年から向けられる
熱い眼差しに
圧倒された

目が……

真っ赤……

ところが一人暮らしの
部屋にまで入られて
しまったとにかく何を
言っても堂々巡りで

君のご両親が
心配すると言えば
家族はいないと

事も無げに言うもの
だから困ってしまった

……それ以上に私自身
警戒心が無さ過ぎた
今思うと真っ赤な瞳の
綺麗な少年に見入って
しまっていた気がする……



少年は自分の
ことをそう語った
その風貌は
まるで…『悪魔』…？

目の前にいる
その未知の存在に
思考が追い付か
なくて

本能的に人間の
人智では敵わない
相手だと感じて
恐怖を覚えた

けれど
そんな
少年は…

『淫魔』
インキュバス
!?

やっぱり
麻美の作る
ごはんは
おいしい！



：
ありがとう



あの時も
がっ
がっ

私は：君に
君が望むような
感情を持つことは
無いと思うから

ごめんね…

私のことなんて
欲望のままに
一方的に

なんとしても
してしまえる力を
持っているの
だろうに

そんなの
まだわから
ないだろ!!

決めつけ
るな!!

俺のこともつと
たくさん知って
から考えろよ!!

決めつけ
るな!!

私と対話
したいらしい？

……

何というか
「純粹」…なのよね…

少年の言う「可能性」を
否定する冷静な
思考とは裏腹に

その純粹な
恋心に戸惑って
しまつて…

一方的すぎる
無茶な要求
だと感じつつ…

麻美っ

何も
しないから

一緒に寝ても
いい…？

…いいよ

どうしよう
…

私と一緒に
寝たがつて
いる雰囲気は
感じてた

…やっぱり
言われちゃった

狭いけど
ごめんね
一人用だから…

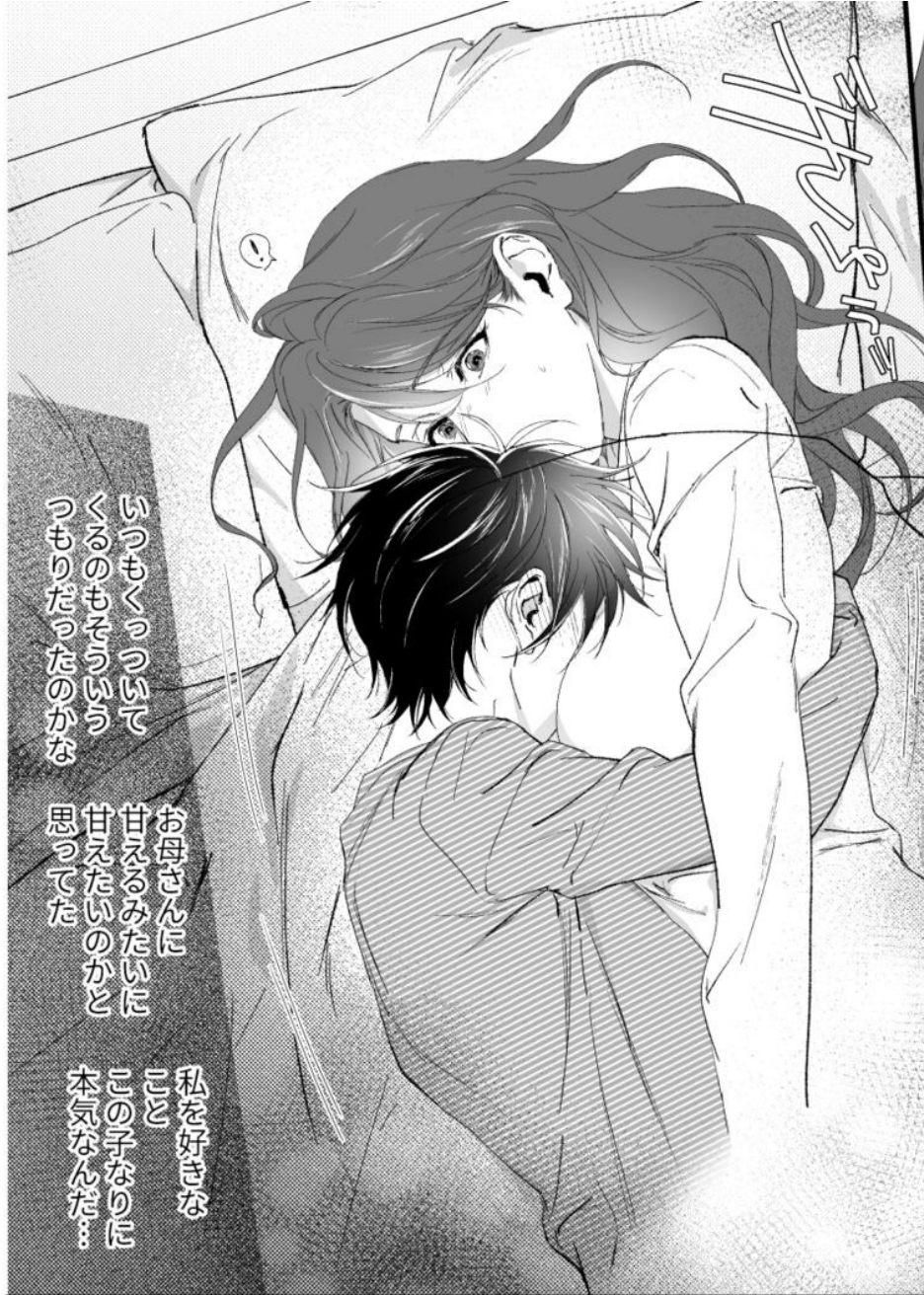
私に
「何かをしたい」
気持ちがある？

「淫魔」？だから？
…正直ピンと
こない…

こんなに緊張して
畏まつて確認をとる
くらいだし
一応信じてみよう…

麻美

…抱き締めて
いい？



抱っこして
じゃ
なくて？



何もしないん
じゃなかった
の？

あ！そっ
それは…



…ふふ
いいよ



いつもくっついて
くるのもそういう
つもりだったのかな

お母さんに
甘えるみたいに
甘えたいのかと
思ってた

私を好きな
こと
この子なりに
本気なんだ！



私が今
わかるのは

陽人くんの
私への想いが
すごく真剣なもの
だということ

子供の『淫魔』…？
見た目は普通の
人間の子供

何が何だか
わからないこと
だらけだけど

その気持ちは
信じてあげたい
かな…



へ…？
あ…
だって…

陽人くん体が
熱いような…？
大丈夫？



すごく素直で…
悪い子では
ないと思う



ここは
特別だから…

このとき私は
わかってなかった

私の布団の中に
陽人くんを
受け入れることは

私にとって
この少年の存在は
あまりに
現実味がなくて

…でも私の腕の中に
おさまっている
ぬくもりは現実で…

夢のような少年

つまり
そういうこと
なんだって

本当に
私は何もわかって
なさすぎた……



セックスしよう
麻美



ドキドキする…
くるしい…



麻美
大好きだ…

いやっ!!



いいやなの…!!
なんで?
俺はこんなに
麻美が好きなのに



私に拒まれると
思ってたかった…?



なんでっ!?



しかも君みたいなの
子供となんて
できるわけない…!!



勘違いさせて
しまった…!!?

だ…だからって
そういうことは…

布団に入るのを
許したからって
そういうわけじゃ



俺は淫魔だから
セックスが俺にできる
一番の愛情表現なんだよ!



関係あるよ
話を混乱
させるの
やめて…!!

君の気持ちは
十分伝わってる
から必要ないよ



本気で好きな
相手とセックスする
ことに子供とか
大人とか関係ないよ

好きだからこそ
セックスで
愛を伝えるんだ



好きだよお...

あ...あさみ...

私の本当の心まで
どうしても欲しいってこと？

俺じゃあいやなんて
言わないでえ.....



でも「淫魔」としての君は...

本当に...陽人くんの
一生懸命な好意は痛いほど
感じてる...

ゲホッ...ハアッハアッ...!!

これをしなきゃ
俺の一番深いところを
麻美に見せられない！
そして俺は麻美の
一番深いところが
知りたい！



セックスでなきゃ
淫魔という「俺」を
麻美に伝えられないんだ！

俺はセックスで
麻美を愛したい！

俺はっ...

また
泣いて必死で
言葉で訴えて

「淫魔」なら私みたいな
人間を操ることなんて
きつと簡単そうなのに

私に君という存在を
肯定してほしい
のかな……

……これを拒否したら……
この子はどうなっ
てしまっただろう……

私を心から
好きだからこそ……

性交が
今の陽人くんにとって
唯一自分という存在を
証明できる方法だと
でも思ってるのかな……

それだけを頼りに
生きているかのような
……そういう生き物ってこと？

私……ここまで
誰かに
求められたの
初めて……

でも相手は
大人の私が
守るべき子供

この子供が
不幸になら
ないために
私が
できること

私が最初に
もっとちゃんと
拒絶してたら
この子が
こんなに思い
つめることは
無かった？

そんなに
私なんか
いいの？



……わかつた

今、この子には
私じかないない
かもしれない……

暗闇の中
月の薄明りでほんやりと
浮かぶお互いの輪郭……
何か夢のような光景……

「淫魔の少年」と
セックスする……!!
子供とそんなこと
しようとしてる私は
何なのそれ……

うーっ……

明日わかつて
もらえるように
ちゃんと話をする
だから今は……
これで……

そんなに泣かないで
……かわいそうで
見ていて辛いよ

麻美……

っ

……ッ!



おっぱい…
やわらか…

下着姿も…もつと
見てたかったけど

麻美の…肌…
…はあ…

…っ…



んあ…ぬるぬる…!!
興奮してる…?あさみ…

ん…!!

これ
のみたい…



ちゅらっ
ちゅらうー♡

っふ…
わっわっ

くにくに



麻美につ
はやくこんな
ふう…触り
たかったっ…!

あ…!!









ジュウ

ジュウ

ジュウ

ジュウ

ジュウ

!!

あつ...い

ジュウ

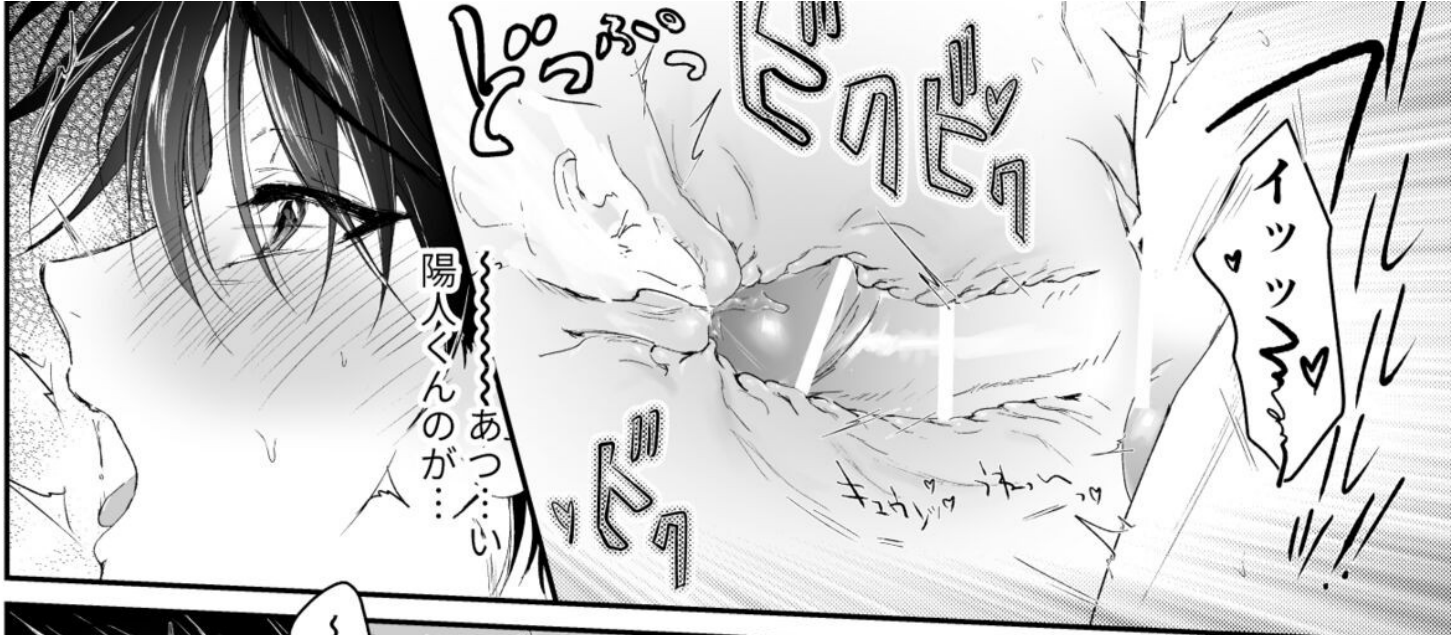
ジュウ

ジュウ

ジュウ

ジュウ







麻美っ俺とっ
繋がってるところ

見てっ

麻美の膣に
俺のちんこっ

ぜんぶ
はいってるっ

ぜんぶ
のみこまれ
てて…っ

麻美の一番っ奥にっ…
俺のちんこ
届いてるのっわかるっ？

ずっと
とろとろで…っ
きもちい…よっ…

…っわか…る…



こんなにつ
子宮が降りてっ
るのはっ

俺の精子を
受け入れる…
ためだよっ…!!





淫魔とのセックスは
気持ちいいんだ…っ
そういうふう
出来てるからっ…

でも今
麻美が

子宮をこんなに
降ろすくらいっ
きもちいいのはっ

「俺」だから
だよっ…!!



なにこれ
こんな

こんな…!!

嬉しい麻美っ
麻美っ!!

ひあっ

あ…もっ
イクっ…おれっ

また麻美の中で
イクっ……!!

私もっ…
もっ…!!





「俺」だから
だよ



今朝は陽人さんの
顔を見れなかった……



でも今麻美が
きもちいいのは



そんな
私は……

麻美

あれが

『淫魔』

いや…

陽人くん？

わけがわからなくなって
されるがままで…
途中から記憶が
おぼろげ…

…何回…しちゃったんだろう…
何度も中に出されて…

あんなに…
私も…何度も…

なのに体は
心地良い
疲労感で…

陽人くん

泣いてた…

今は生殖できない…って
鵜呑みにしてしまった

本当に!?
嘘じゃないとしても
本人が気が付いていない
可能性だって…

麻美

淫魔ってそういう生き物
なんだって
ネットや本で見た…

私…そんな子とこれから
私の部屋で
ずっと

二人きり…!?

麻美

麻美

麻美

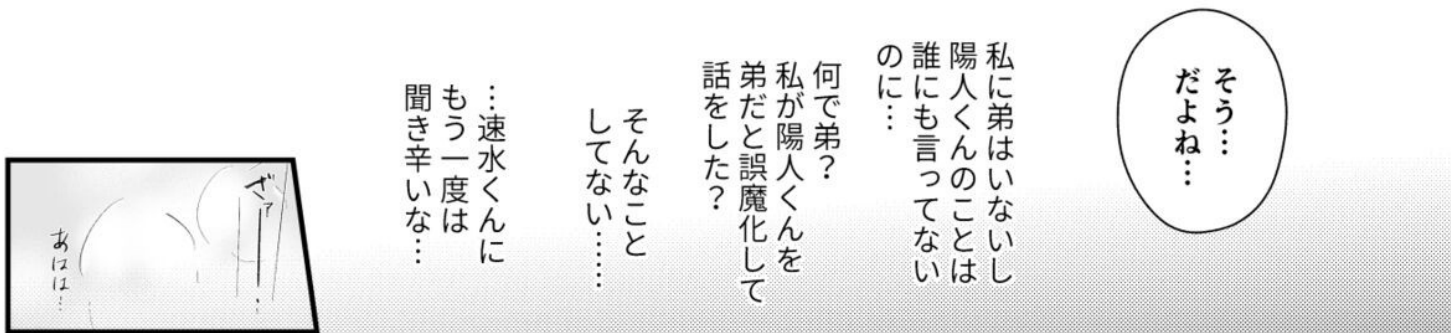
麻美

何…これ
何やってるの私…!!

大好き

鈴木さん？





弟…他人から見たら
私たち姉弟に
見える…かな…?

親子にだって
見えるかもしれない……
そうだと私がちゃんとしなきゃ
いけないのに

本当に何
やってるの私

話をしなくちゃ
陽人くん

わかって
もらえるように

やっぱり
麻美の裸
綺麗だ…

い、いきなり

そう…かな

……真剣な目…

うん
明るい場所だから
隅々までよく
見えるよ

麻美の
白くて
柔らかくて

……!!

つやつやで
いい匂いが
する体

俺
大好きだ

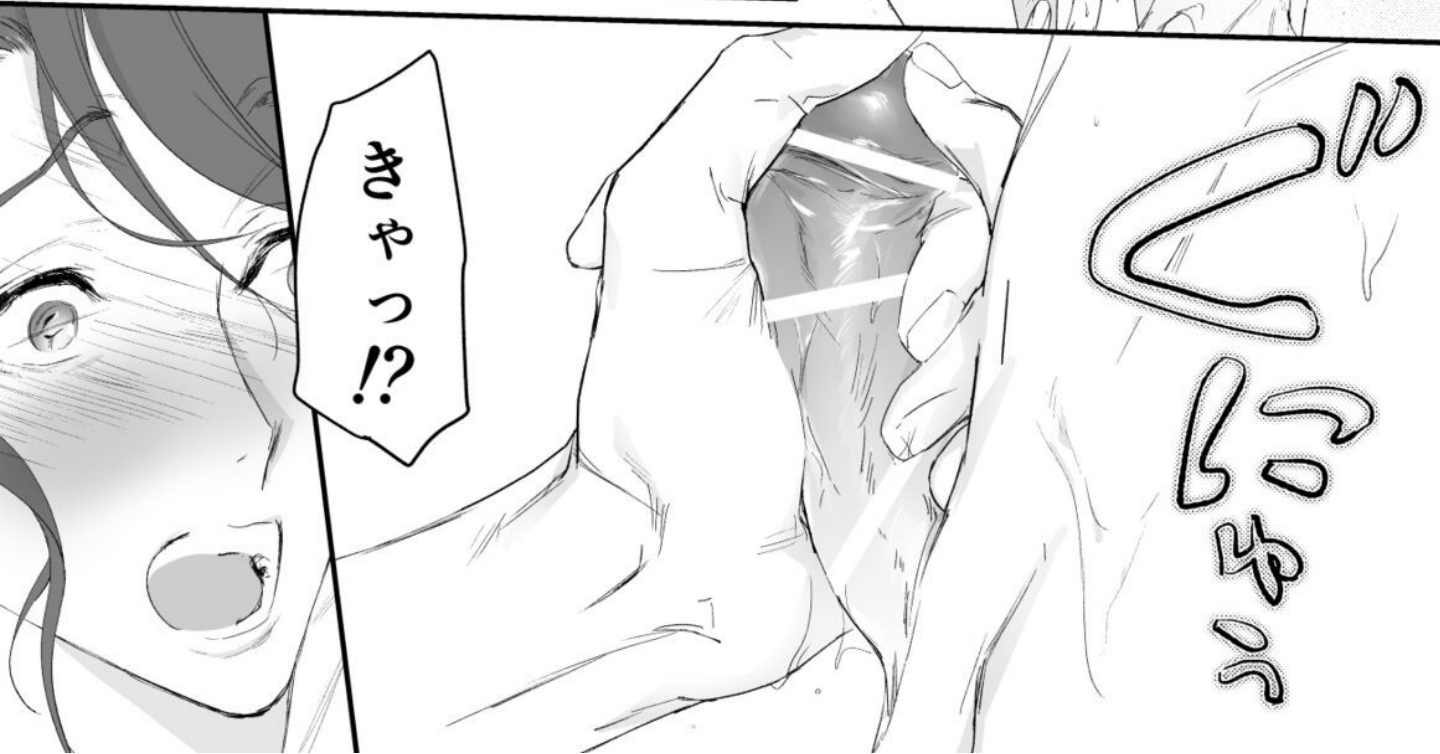
…昨日は
きもちよ
かったね…

麻美見てっ

あっ!!
待って!

先に
あがるね

えっ……!?





麻美のことを想って
勃起した俺のちんこ…
どうっ…!?

これが俺…だよ!
ほらもっと
触ってみて…

…か…固い…
ぴくぴくして…

んっ…擦って…

かき



よく見て
手で感じて…っ

……これが昨日
私の…中に…入って…

うんっ

っん

ひあ…!そっ…
俺のここがっ…麻美に
触れたらどうなるか



ああっ…麻美が
ちんこっさわって

あっ
あっ
あっ…!!

ビュン

!!





麻美のこそこごく
苦しそうに
ひくついてる...

俺の尻尾が
くいこんで...

尻尾...?の
刺激が...

お尻も膣口もクリも
ぜんぶこするの
きもちい...?

だめだめ



乳首...ん
かわいい...っ

ふるふる...

...ぜんぶ
一緒にしちゃ...ッ



はあ

私少年と
セックスしてる……

ぬるる
ぬるる

ぬるる
ぬるる

麻美…見てっ
すごいよっ…!!
これが俺たちが
セックスしてる
姿…っ!!

麻美の膣は…俺の
ちんこが入ってきて
たまらないみたい

きゅうきゅう
って…っ
啜えてる…!!

あぁっ

アッ
アッ

アッ
アッ

また…私の中に
陽人くんを
入れちゃっ…た…

またそのまま
入って…

は…っ
るとくっ…あっ…!

はっ
はっ
はっ

すっ
すっ
すっ

今の俺は
麻美をつ受精
させられないっ…
からあっ…

だめっ
だめっ
だめっ…!!

はっ
はっ
はっ

麻美ッ…!!

イクっ
イクっ

今更意味が
ないとしても…

中に出しちゃ
だめ…っだから…

はっ
はっ
はっ

それなら…って
思ってた、しまっ
から…!!

中に
出すっ…!!

はっ
はっ
はっ

んっ
大丈夫…
だよっ!

いっぱい
こすれて…っ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ



陽人くんの濃い
…精液が私の中に

また沢山注がれて
るの…わかる…



あつい……



陽人くんも
感じてるんだ…

私の奥に
注いでるじゃん……

もっと…しよ
麻美っ…

もっと麻美を
感じたい……

もっと…するの…？
私は…陽人くんと…

…そんなこと
は……！！



すごいね…



麻美…



だから俺は
これからずっと
……!!

ずっとって
いつまで?



陽人くんに見つめられると
動けなくなる

受け入れ
たくなる



俺は… 麻美とセックス
してて

連綿と続く時間の中で
一瞬でも麻美を
見逃したくないと
思ったんだ



この瞬間も
知りたくて
うずうずしてて

陽人くんにとって
私との…セックスが
どれだけ重要なのか

ずっと麻美を
感じていたくて
たまらなくて

身体でも
心でも…感じてる



だからっ

いつまで?

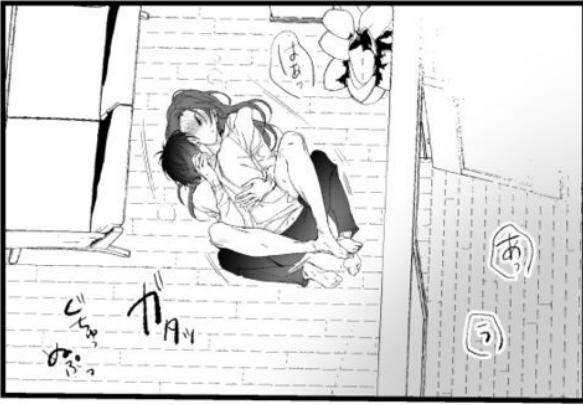
もう十分
お互いのこと
わかったから

だからもう
麻美は俺と
セックスしない
ってこと?

…うん…

ドッ

私をこんなに
大好きな男の子を
抱き締めたくなる





…うん

そういえば
これ



全然：
大丈夫

鈴木の帰りが
遅いと弟が
寂しがるでしょ
ここのところ
ずっと忙しくて
残業ばかりだし



遅くまで
手伝って
もらって



陽人くん…あの
今洗い物してる
から…

抱き締める
力が強い…

帰って来てから
ずっとこんな様子だな…



…人間の
雄のにおい
がする



水族館の割引
チケットあげる

妹と行って
来たんだけど
まだ残ってる



弟と
行って来ると
いいよ

楽しんで
きてね



…私
ひどいよね
今日も部屋で
私のことを
待ちくたびれてる
だろうな…

陽人くんのことばかり
考えてしまうのが苦しいから
仕事で頭を一杯にしたくて

それに…今日は疲れてる
からって…断ることが
できるから…





麻美は誰にも
渡さない！

俺の…っ

麻美は
俺のだっ！！

真っ黒い尻尾が
身体に食い込んで…

あいついつも
麻美に近付き
やがって…

あいつ
麻美が好きなの
か…！

今日だけじゃ
ない…いつも
くさい…

んっ…！



大人

だから…？

麻美は
大人の雄が
いいのか！

俺だって
すぐに大人に
なる！！

私が速水くんを
好きだと言ったら

この子は私を
諦めるだろうか



ずっと私を
そんな風に

凝視してるんだ
…



…私は…
速水くんのこと…

麻美



麻美…!!

陽人くん
そんな嘘
つきたくない

それに



そんな風に思っ
てないよ…

私最低…
速水くん迷惑
かけようとした



よかったっ
…!!

麻美…
あさみい…

んっ
ぐわん

いくら
セックスをしても
心を変えられる
わけじゃない…

はあっ



私に対する陽人くんの
必死さが

んっ

ふぐっ

がぶ

あッ!

切なくて…



陽人くんの熱を
私の中にどれだけ
注いでも



今の君は私を
妊娠させることも
できないんでしょう？



でも

私は「いや」
じゃない…
むしろ…

私は陽人くんと
セックスで

気持ちよく

なってる



私は...？





俺達のこと
『つがい』
かって



言葉が
わかるん
だ...?

外に...



外に出して
やろうか?

...
そっか

ん?
俺はそうだと
思ってる...



身体があつい...



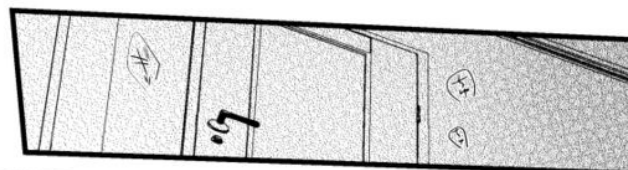
.....



...それでも
この子の場合
それ以前にもっと

もっと
この子
自身が

例えばそれを
自分の使命だと
思っているとして...



結局私は
されるがまま
注がれて...

陽人くんは
「子供」を
作りたい
のかな...



うん？

ん



ん…陽人くん…

ん



……
お父さんとお母さんがいなくて
寂しくはない？



そんなことより
麻美が俺の傍に
いないことの方が

すごく
寂しい……っ

はーはー…



別に？

っん

はー



んう…！

はー

はー

はー



陽人くんは
どこから
来たんだろう...

親じゃなく
ても他に誰か
いないの？



今の陽人くんの
心の拠り所は

私...



俺は
麻美さえ
いればいい

どうでもいい
...麻美



ずっとキスして
いたい...し...
セックスして
いたい...

ずっと麻美に
ぎゅってしてて
ほしい...

ぬ...



麻美じゃなきゃ
嫌だっ...!!



...っ俺...ほんとに
麻美のことしか
考えられないから...

あっ...



あっ
...!

びび
びび
びび



陽人くんは
たくさんの人間の中で
どうやって私を
見つけ出したの？



陽人くんは
何でそんなに
私のことが
好きなの……？



麻美!

た
だ



おかえりっ！

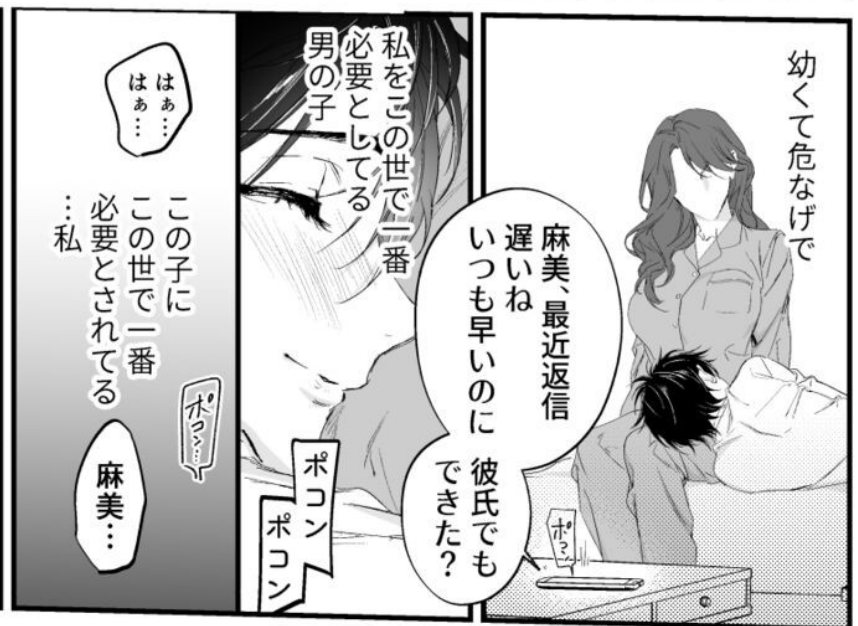
私…変だ…
陽人くんのことを
考えると苦しい…



私は濃密な熱に
されるがままで……

その熱を帯びた瞳を
向けられると
胸が熱くなって

どうしても
拒めなくて……



幼くて危なげで

麻美、最近返信
遅いね
いつも早いのに 彼氏でも
できた？

私をこの世で一番
必要としている
男の子

はあ…
はあ…
この子に
この世で一番
必要とされてる
…私

麻美…



…せ、セックスで
感じすぎて私の方が
夢中になってしまっ
てるの…!!

この子とセックス
したいだけの
いやらしい
下心じゃないの!!



あれ…
あれ…？

もう拒めないの
……!!

これは
どういうこと
なの…？



麻美

私……
…そうだ
私だ……

この一人
ぼっちの
男の子を

寂しい子供に
仕立てて
言い訳にしてる

陽人……

そんな私自身
が本当は……
寂しいんだ……

くん



……どうして
……私……
なの……?



麻美と一緒に
いると幸せで
満たされて…
嬉しくて…

俺…
産まれてきて
よかったと
思うんだ……

存在する喜び
というものを

麻美が教えて
くれたんだよ

幸せ…
か…

君は

そんな風に私を
肯定してくれる
んだ……

こんな私
なんかでも
君はそんなに
……

この子が私を
見付けてくれた
ことはぎっと
悪いことじゃない……

だからね
麻美

いたっ…!?

俺と愛し
合おう

君はどうして
私を見付けた
の……？



やっと
見つけた！

陽人っ！！

あ、佳織かおり

妊婦さん…！？



勝手にいなく
なって…ッ！！

私のところに
帰ってきなさい！！

！！

えっ？
俺は麻美と
一緒にいたいよ

陽人くんの
知り合い
……！！

……！



陽人と姉弟きょうだいごっこ
してる女!

あんたね!



...?



陽人が自分の姉に
させた女がいる
なんて言うから
...ッ!!

姉弟
.....?

陽人の後を
付けて...
あのときは
見失っちゃって
.....っ

陽人が女のところに
通ってるって知って

あんたが陽人を
そそのかしたん
でしょ…っ!!

幼い弟と
一緒に住んでるっ
言ってたから

僕は会ったことは

……これ
……は……
……っ

何言っ
てるんだよ

麻美は何も
知らないし
覚えてないよ

俺が弟だって
思い込ませてた
こと

……はあ……なーんだ
じゃあ陽人に利用
されてただけかあ

なに……

あんた陽人と
セックス
してるんでしょ?

私は……
してる……

淫魔はセックス
しないと生きて
いけないもんねえ

この子供と……

そっかあ…
今は

陽人が淫魔だって
知った上でセックス
してるってこと…

淫魔だからって
言い訳ができて
良かったわね
この異常者!!

子供に
欲情するなんて
頭おかしいッ
……!!



……か……
ってる……っ……
わたしが……

おかしい……
なんて……

……わ

麻美……

え、陽人……

佳織！麻美を
侮辱するな！！



はあっ
ううっ……！

麻美……

私が悪いこと
してるから……？

姉弟……？
利用……？
なにそれ……



佳織の
お腹の子は
弟との子供

異母姉弟
なんだ
あの二人

俺は佳織に
拾われて
少し一緒に
住んでた

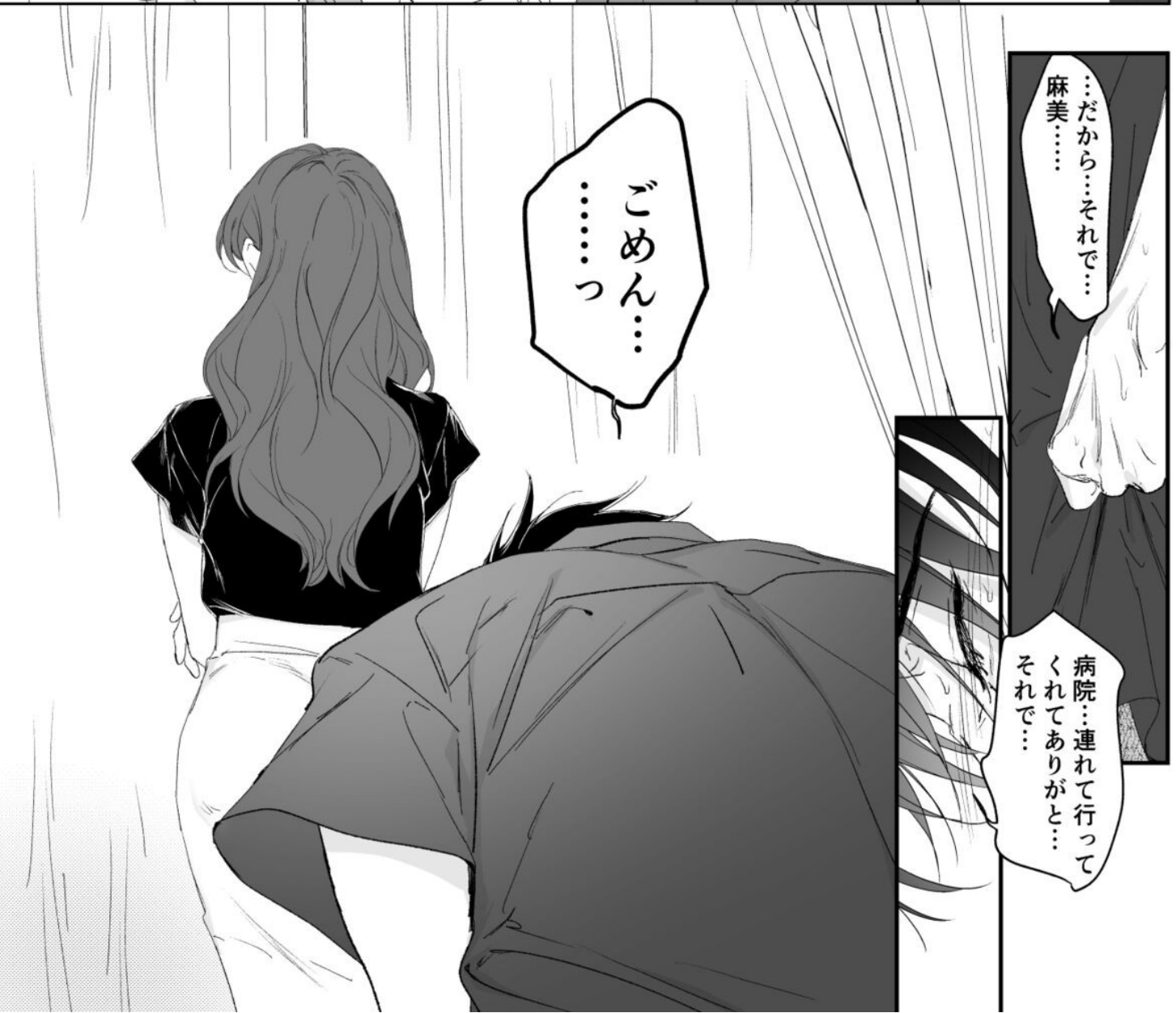
俺は
佳織の話
相手だった

あ…佳織とは
セックス
してないから

佳織が泣きながら
俺を抱きしめる
ことがあったけど

今思えば…
佳織は弟との
関係に

すごく
悩んでたん
だと思う…



…さっき麻美の
涙を見てやっと
気付いた…

自分の
しでかしたこと
…

淫魔
俺は
絶対死んだら
ダメなんだ

生き続けて
生殖しなきゃ
いけない

でも淫魔は
セックスしないと
生きていけない…

雄と雌が
セックスするの
なんて
当たり前だから

傷付くんだ…
って…

麻美の心を…
痛みを想像
できなくて…

…俺は
麻美に告白
する前…

本当の弟だと
思い込ませて
麻美にセックス
させた

麻美を騙して
利用した…

…そしたら…
麻美は俺を心から
大切にしてくれて
…

俺は麻美を
好きになったんだ

っ…!!



なんなの
それ…ッ

何にも
知らないっ…

ホッ…



私は
何もっ

姉弟だと思い
込まされてた…!!

私の体を
勝手に…勝手にっ…

覚えてないっ

勝手に…
せ、セックス
させられてた…!!

正当化なんか
しないで

君の生存のため
なら私のこと
なんかどうでも
いいなんて

私は君にとって
都合のいいモノ
なんかじゃない

そんなこと
もわから
ないの

私っ…
君を信じて
たのに……！

……でも
私の体は

覚えていた
かもしれない……
陽人くん
に与えら
れる快
楽を

私は…あの熱を…
知っているような
気がしてた…
ずっと…

こんなの…
これは…
自業自得なの？

そんな
きっかけで
私を好きに

私は

許さない…

大好きだ

ぜったい…

麻美

都合のいいモノ
ゼッ

こんなの……
やっぱり罰だ

それは私だって
そうなんじゃ
ないの

君に

私が
おかしい……
から……

毎日部屋で
おかえりって
出迎えてほしい
狭いベッドでその
あったかい身体で
私を抱き締めて
ほしい

子供……に対して
……だめなのに

いやだよ……
陽人……くん……

ずっと
私のことを
好きでいて
ほしい

陽人くん
……

だから……!!
見逃してなんか
あげない……っ

ずっと
私と一緒に
いて……!!





一生私のこと
好きでいてよ
…!!

あ…

うん

ずっと
大切にする……!!





私はずるい
人間だ…

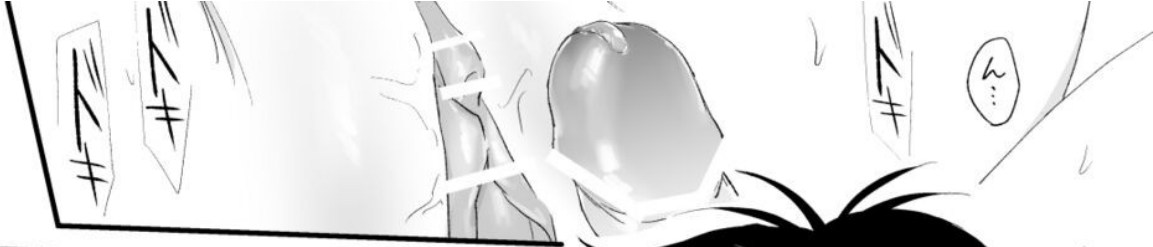
それでも…
ずっと一緒に
いたいって

大切にした
いって言うてく
れるんだね…

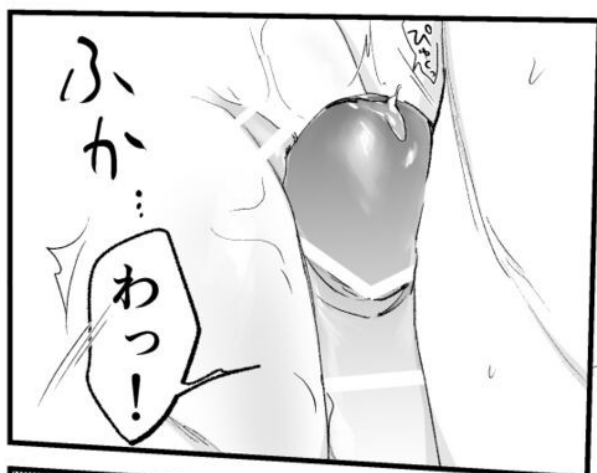
ほ

あ

キッ



オロ...







そんな風に
自分で考えて

一生懸命
私の様子…
観察して…

はあっ
んん…っ

私の感じる…
ところ

「す…って

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ

あんっ

変な声
出る…

あっ

すう
すう
ぽんっ
ぽんっ
ぽんっ

陽人くんのもの
かたくて
あつくて…

は、はやいの
だめ…

っ…あつっ。
だめだめ

あ

ああ

ぽんっ
ぽんっ
ぽんっ

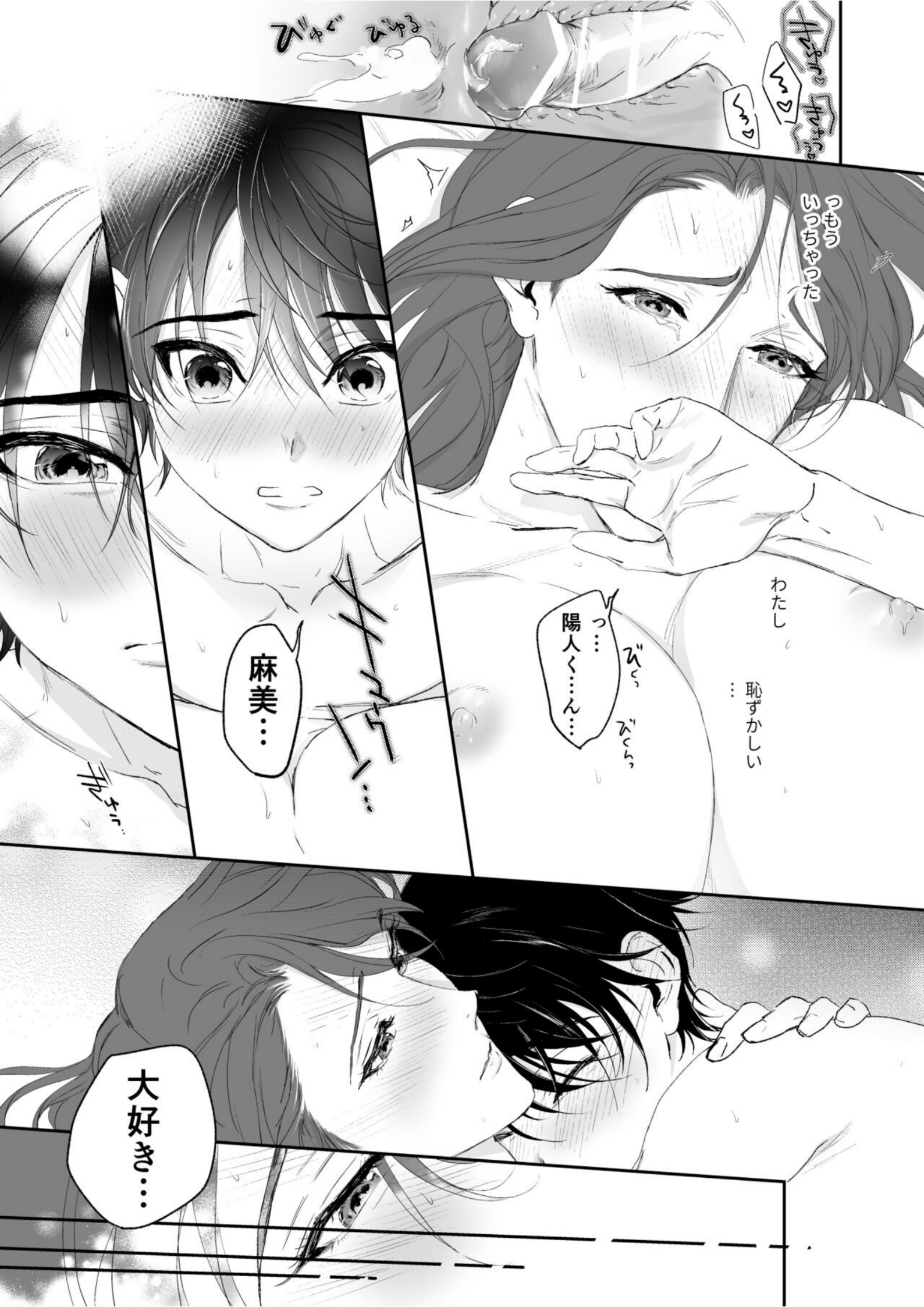
陽人くんは
きっと「佳織」さん
達の真似をして
私との「姉弟」を
作ったんだろう…

んっ
んっ…

しゅ
しゅ

でも自分では
真似をした自覚は
ないんだろうな…





ひゅっ ひゅっ

はっはっはっ
はっはっはっ
はっはっはっ

つもう
いつちやった

麻美...

っ...
陽人くん...

わたし

... 恥ずかしい

大好き...



…優しい人
たちだよ



親かあ

麻美の親って
どんな人？



うん
うん

じゃあ
お母さん体に
気を付けてね



そう？

この子との
これからのことが
何も想像できない

身長測って
みようか



ふーん…

陽人くん少し
背が伸びたん
じゃない？

…全然
想像できない

陽人くんのことを
両親に話す日が
いつか来る…？



でも陽人くんは
少しずつ身体が
成長してると思う…

いつか
大人になる…
未来があるんだ…

そんな
かすかな
未来の予感を
感じつつ
今は
目の前のこの子を
精一杯大切にしよう



陽人くんって
病気とか怪我
したことある？

治療は
人間と一緒に
いいのかな…

「淫魔はセックス
しないと生きて
いけない」？

んー？風邪は
ひいたことある
すぐ治ったけど

そっか佳織さん
に聞いて
おかなきゃ

佳織んちの
専属の医者に見てもらった

…？ 専属

淫魔…？という
存在は私には
壮大すぎる…けど

ええっと…
わかったとにかく
私も学んで
いかなきゃね…



目の前のこの
子供のことは
少しでもわかって
あげられれば…

麻美

ありがとう…



陽人さんの
腕の中が……
優しくて頼もしくて

……うん……

これから
何があってもきっと
大丈夫だと思えた

この度はご購入&お読み下さってありがとうございます。
本作は、前作『少年淫魔が人間のお姉さんを好きになる話』の続編となります。
(前作が1作目、今作は2作目です。)
前作より1年以上間を開けての続編の発売となり、絵柄などが少し変わっています。
お楽しみいただけましたら幸いです。



はると
陽人 145cm
淫魔の少年。大きい鞆を背負うのを卒業
する前後くらいの年齢。麻美のごとが大好き。
佳織の元にいた頃は感情が希薄で人の気持
ちに無頓着だったが、佳織と夏臣の愛し合
う姿に眩しさを感じていた。のぱ

鈴木麻美 25歳 164cm
色々あって、陽人が恋人のような家族のような
友人のような大切な存在になった。
一人っ子なのできょうだいがいる感覚がわからない。
速水のことは互いによき仕事仲間という認識。
人に好かれたくていい顔をしてしまう所がある。



淫魔...? とい
存在は私には
壮すぎる...

に聞いて
おかなきゃ

佳織の専
属の医
見てもら



かおり
佳織 29歳 160cm
夏臣(弟)とは異母姉弟。
その後、麻美・陽人と交流を持つ。



なつおみ
夏臣 24歳 180cm
佳織の弟。



はやみ
速水 25歳 184cm
麻美の同期、現在は主任。
爽やがシスコン。

続 少年淫魔が人間のお姉さんを好きになる話 R18

2022/10 制作:オトイN/御子柴 オリジナルショタおね漫画
無断転載・複製・インターネット上への無断掲載禁止

